

6月定例会・代表質問で登壇

清水勇人市長の3期目を質す！

神 崎⇒獲得目標の20万票を超え、全10区でのトップ得票を獲得、次点の元衆院議員候補に3倍以上の差をつけ圧倒的な勝利だった。この結果を受けての3期目の決意を伺う。

市 長⇒市民の皆さまから、これまでの2期8年の市政運営について、一定の評価を頂けたものと、また、大規模イベントについても報道機関のアンケートから一定のご理解をいただけたものとする。これからの4年間、これまでと同様に「責任と共汗」「徹底した現場主義」「公平・公正・開かれた市政」という3つの基本姿勢を貫き、全身全霊を込めて市政運営に取り組んでいく。

神 崎⇒次に、これまでの2期8年間、マニフェストの達成状況は8割以上としているが、実現できなかった反省点を伺う。

市 長⇒一つ目は、地域で高齢者の見守りの制度など作っていかうとしたが出来なかった。今後は、地域包括ケアシステムを構築していく中で、具現化していく。

二つ目は、待機児童問題について十分な状況ではなかった。これから4年間で、子育て支援について全力で取り組んでいく。

三つ目は、東日本の中枢都市の形成について、計画を作ったり準備段階の部分が多く十分ではなかった。これからの4年間で、2都心及び4副都心地区の都市機能の向上についてスピード感をもって取り組む。



日本一の教育都市

神 崎⇒「日本一の教育都市」について、これまでの成果と今後の課題を伺う。

教育長⇒この4年間、新たな施策として、スクールアシスタントの配置、政令市初の全市立小中学校での自校方式による給食の実現と新しい英語教育のグローバル・スタディのスタートなど挙げられる。いじめについては、いじめ防止対策推進条例を制定し、いじめの撲滅に全力で取り組んできた。

どのような素晴らしい施策でも、その目的や意義が見失われれば、その価値は全く失われる。一番大事なことは、教職員一人ひとりがその施策の目的と意義を共有して、常に子供たちのためにどのように実施するべきかを考え続けることだ。

順天堂大学附属病院誘致

神 崎⇒平成 30 年 3 月までに着工、平成 32 年度完成を目指すとしていたが、現状ではそのスケジュールは難しいといわれている、現在までの進捗と課題、今後について伺う。

副市長⇒埼玉県が平成 27 年 1 月に病院整備計画を公募し、同年 3 月に採択した順天堂の病院整備基本計画を実現するため、県に協力する立場で進めている。

現在、土地利用等の規制について本市から課題を提示している。具体的な病院施設の整備計画が順天堂から示された段階で、直ちに協議できる準備を整えている。土地の貸付条件については、本市の医療がどのように充実・強化されるかなど考慮して検討する。

今後も、さいたま市の考えをしっかりと伝え、病院整備計画に協力していく。

市民会館うらわの整備

神 崎⇒昭和 40 年代に同じく開設された市民会館いわつきは耐震工事を完了、市民会館おおみやや駅前の再開発事業の複合施設へ移転が決まっているが、市民会館うらわはどのように整備するのか伺う。

副市長⇒耐用年数や費用対効果を踏まえ検討を行っているが、今般、浦和駅西口南高砂地区の再開発組合から、建設予定の複合施設に市民会館うらわを移転してもらいたい旨の要望書が提出された。当該地区は駅前という好立地に位置していることから、市民の利便性の向上や駅前地区のにぎわいづくりへの寄与等が期待できるため、再開発事業の複合施設への移転も含め、総合的に検討する。

2020 東京オリンピック パラリンピック競技大会

神 崎⇒先般、東京都、大会組織委員会、国及び開催自治体の 4 者において、費用負担に関する合意がされたが、本市の負担を伺う。また、競技大会後も本市に形として残るレガシーも重要と考えるが見解を伺う。

副市長⇒本市の費用負担は、「通常の行政サービスとして行う消防や救急サービスの部分」であることが確認された。

大会レガシーとして、バスケットボール会場となる「さいたまスーパーアリーナ」のある新都心地区とサッカー会場となる「埼玉スタジアム 2002」のある美園地区をつなぐ、次世代 EV バスに関する運行ルート調査や大会後の事業継続手法について検討している。

3 期 12 年・多選自粛

神 崎⇒清水市長は、1 期目の Manifesto の目玉政策に「多選自粛条例で市長任期は 3 期まで」を掲げた。提案した条例は議会で否決されたが、3 期 12 年と限った 8 年前の考え方について、3 期目に入った今、どのように考えるか伺う。

市 長⇒同一の者が長期にわたり在任することで、様々な弊害を生みやすく、好ましくはない、という基本的な考えは変わっていないが、一方で、現時点では、市長の任期として 3 期 12 年を超えることのみをもって、その弊害が大きいとは言い切れないと考える。

基本的には、選挙によって与えられた 4 年間の任期をしっかりと行い、そして自分自身で評価し、その上で考えていくことが一番適切ではないかと考える。

この紙面では、代表質問の抜粋を記載いたしました。詳細については、さいたま市議会 HP にあるインターネット録画中継(約1時間 25 分)をご覧ください

